2026 年 11 月 4 日
日本銀行佐賀事務所
日本銀行福岡支店

Bank of Japan Saga Office / Fukuoka Branch

佐賀県の金融経済概況

(2026 年秋)

当資料は当事務所ホームページに掲載しています　https://www3.boj.or.jp/saga/
<内容に関するお問い合わせ先>　日本銀行佐賀事務所 Tel：0952-23-8165

１．総論

○　佐賀県の景気は、一部に弱めの動きがみられるが、全体としては横ばい圏内にある。

最終需要の動向をみると、個人消費は、一部に弱めの動きがみられるが、底堅く推移している。住宅投資は、弱めの動きとなっている。公共投資は、持ち直しつつある。設備投資は、減少している。

こうした中で、生産は、横ばい圏内の動きとなっている。雇用・所得情勢をみると、改善している。

先行きについては、今後の中東情勢の展開や原油価格の動向、AI関連需要を含む海外の経済・物価動向、コスト高とその波及などが、当地の経済・金融情勢に与える影響に留意する必要がある。

＜景気判断の前回との比較＞

項目		基調判断	
		前回（2026 年夏）	今回（2026 年秋）
景気全体		一部に弱めの動きがみられるが、全体としては横ばい圏内にある。	一部に弱めの動きがみられるが、全体としては横ばい圏内にある。
需要項目	個人消費	一部に弱めの動きがみられるが、底堅く推移している。	一部に弱めの動きがみられるが、底堅く推移している。
	住宅投資	弱めの動きとなっている。	弱めの動きとなっている。
	公共投資	減少している。	持ち直しつつある。
	設備投資	減少している。	減少している。
生産		横ばい圏内の動きとなっている。	横ばい圏内の動きとなっている。
雇用・所得		改善している。	改善している。

２．個人消費

○ 個人消費は、一部に弱めの動きがみられるが、底堅く推移している。

▽個人消費関連の動向

非耐久消費財	百貨店・スーパー売上高	底堅く推移している。
	ｺﾝﾋﾞﾆｴﾝｽｽﾄｱ売上高	底堅く推移している。
耐久消費財	家　電　販　売	持ち直している。
	乗用車新車登録台数（含む軽自動車）	持ち直している。
サービス	旅　行　・　観　光	底堅く推移している。

３．住宅投資

○ 住宅投資は、弱めの動きとなっている。

7～9月の新設住宅着工戸数は、前年を下回った。

４．公共投資

○ 公共投資は、持ち直しつつある。

7～9月の公共工事請負金額は、前年を下回った。

５．設備投資

○ 設備投資は、減少している。

法人企業景気予測調査（2026年7～9月期調査）における2026年度の設備投資は、前年度を下回る計画となっている。

６．生産

○ 生産(鉱工業生産)は、横ばい圏内の動きとなっている。

▽主要業種の生産動向

食　　料　　品	弱含んでいる。
化　　学	減少している。
電　気　機　械	振れを伴いつつも緩やかに持ち直している。
電子部品・デバイス	増加している。

７．雇用・所得

○ 雇用・所得情勢をみると、改善している。

労働需給をみると、9月の有効求人倍率は、前月を下回った。

8月の雇用者所得総額[1]は、現金給与総額と常用労働者数の増加により前年を上回った。

８．物価

○ 9月の消費者物価(佐賀市、生鮮食品を除く総合)は、前年比＋1．9％となった。

９．金融[2]

○ 9月の預金残高をみると、前年を上回った。

○ 9月の貸出残高をみると、前年を上回った。

○ 企業倒産は、振れを伴いつつも増加している。

7～9月の企業倒産をみると、件数、負債総額ともに前年を下回った。

以　上

1　雇用者所得総額は、「常用労働者数×一人当たり現金給与総額(名目)＜ともに事業所規模5人以上＞」で算出。

2　預金・貸出残高の前年比は、国内銀行(ゆうちょ銀行等を除く)の佐賀県内にある店舗の残高合計から算出。残高合計については、日本銀行福岡支店 HP「県別預金貸出金残高統計」参照。